

社説バトルに
終止符 17 奥浩哉 いぬやしき 必見!!!!

2016.10.11

20

週刊
イブニング
2016.10.11
17
奥浩哉 いぬやしき 必見!!!!

イブニング

第2巻 第4回 白黒



登場
カブー



ゲレクシス
全4巻 第1巻 第2巻 第3巻 第4巻
吉谷実



人気
漫画家

**女子
柔道部物語**

恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

人気
漫画家

はくはく **バクチごはん**

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

原作 恵本裕子 小林まこと

目が離せない、感動が止まらない、
大人のラブストーリー。

官能先生

吉田基己

よしだもとみ

新連載
第2回
30ページ!

僕
を
手
で
く
れ

0 プロローグ

ある夏の夜の事でございます。
先生は稲荷神社のおまつりを、
独りでぶらぶら御歩きになって
いらっしやいました。すると、
きつねの面を被った女性が一
人、御眼に止まりました。朝顔
の浴衣からのぞく彼女の肌は、
雪のようにまっ白で、よりかか
る身体からは、何とも云えない
好い匂が、絶倫なく溢れて磨り
ます。極楽とは、丁度このよう
なものでございましょう。



あの時
間
たしかに
私は恋人同
士
だった。

官能先生

鳴海六朗、四十にして惑いっぱなし。



奇妙なカード、
見当違いの占い、

人の波、
きつねの面、

ひきよせられた邂逅。



恋しくば、尋ねきてみよ……。

ふしぎな
大人のラブストーリー。
新連載第2回!

KANNOU SENSEI #1

官能先生

吉田基己



絶賛
発売中

夏の前日 全国巻
8月8日発売 全国巻

*I thought I'd
tease a human
who seemed to be
enjoying himself
on the night of
that festival.*

*I'm
a fox.*

*He treated
me so kindly
without ever
realizing for a
moment that
he'd fallen
under my
spell.*

*But the
more I teased
him, the more
enthralled he
became. What
a strange
human.*







IL NOTO: PRIMA L'INIZIO POLITICO DI UNO DEI PERSONAGGI CHIAVE, MAI IL CLIMAX PIU' DI UN PAIO DI PAGINE, MA UN ALTRO TITOLO IN UN MONDO DI PERSONE: IL PERSONAGGIO CHIAVE E' IL PERSONAGGIO CHIAVE DI UN MONDO DI PERSONE.













Thus, I was still adrift in my fortune, happily enjoying the freedom of unmarried life at my own pace.

I'd always dreamt of making a living with nothing but my pen. But the prospect of a career writing literary fiction, which was anything but lucrative, was hardly certain.



WHAT EXACTLY

DID THAT FORTUNE TELLER SAY AGAIN?



A FOX FOR A WIFE, HOW ABOUT THAT?



*That moment
wasn't reality.*

...WHY AM
I THINKING
ABOUT THAT
AGAIN?
I'M SUCH
AN IDIOT.

*I might have been
waiting for something
despite knowing
we'd likely never
meet again.*

*Or
maybe,*



DON'T
KNOW IF
I WANT TO
GET CURRY
AGAIN,
EITHER...

MISSED MY
CHANCE TO
GET LUNCH.



IT'S
SO HOT
TODAY...



*I had a
feeling.*



AH,
I'M
SORRY
...





















DON'T YOU
REMEMBER
ME?!



IT'S
ME!











I LOVE
YOU.





IS IT
STRANGE,
THAT I'M
TELLING
YOU THIS?

EHHHH?



IT IS.





「官能先生」/つづく、次回は、連続掲載!! 10月11日発売号に登場です。